

青流

平成26年度
速報 第6号

大分県立
別府青山高等学校
PTA
調査広報委員会

青山高校五十周年に寄せて

「単位制導入の意味するもの」

第十九代校長(学校評議員) 飯沼 基司



平成十九年度、別府青山高校は、進学重視型の「単位制普通科高校」として新たなスタートを切るようになった。

この教育内容の変化を、あえてあらましに表現すると、受験学力を高めることに重点を置いた教育から、将来どういふことをしたいのか、何になりたいかをしっかり考えさせるキャリア教育を推進する中で、個々の生徒の能力・特性を伸ばす教育に移行したといふことができる。

教職員の積極的な提言により、一年次生では「二人担任制」としたこと、個別相談や家庭訪問の回数を増やすことができ、生徒理解が深められた。また「総合的な学習の時間」には、週二時間を充て、多様な講演や体験学習を取り入れ、広い視野から考察する力を身に付けさせることができるようになった。

さらに、全校生徒による英語検定や漢字検定への挑戦や、「朝読書」の導入など、多面的な能力の開発に取り組んだ。

そうした移行期に、一六〇名の入学生がそのまま全員卒業した学年が出たことや、県体では六種目で団体優勝をしたことなどは、別府青山ならではの教育成果であろう。また、トイレ清掃に生徒・教職員・保護者でみっちり取り組んだことなども、忘れがたい体験となったようである。

九月初旬、第二次安倍改造内閣が発足したが、全閣僚の経歴を見ても、東大卒等はわずかで、私立大学を中心に学歴は多様である。学歴や組織での地位といったものよりも、歩んできた経験・キャリアが重視される時代になったということであらためて感じさせる。

別府青山は、この五十年間さまざまに生徒の可能性を輝かせ、教育の在り方に一石を投じ続けてきた。統合され新たな学校になっても、そのスピリットが生き続けることを願っている。

今日の青山

最近のアップ内容 (毎日更新)

- 9月29日 9月学年集会 ～3年次生～
- 9月24日 2学年PTA
- 9月24日 PTA新聞「青流速報版」第5号
- 9月23日 図書館報 ～植花夢第75号～
- 9月22日 9月進研マーク模試 ～3年次生～
- 9月18日 「ほけんだより」 ～9月号～
- 9月18日 部活動 試合のお知らせ～水泳部・野球部～
- 9月17日 探究学習発表会 ～2年次生～
- 9月16日 大分県新人陸上大会結果 ～陸上部～
- 9月16日 保護者の皆様へ
～青嵐祭のカレー作り・販売について～
- 9月11日 部活動訪問 ～陸上部～
- 9月10日 探究学習発表会に向けて～2年次生～
- 9月09日 保護者の皆様へ
～別府市内公立高校PTA
親睦ミニバレーボール大会について～
- 9月09日 長崎がんばらんば国体に出場 ～水泳部～
- 9月08日 「50ing (ゴーイング)」

文化祭テーマ「50ing (ゴーイング)」

文化祭Tシャツ

生徒会メンバーのアイデアを、書道部の生徒がデザインしました。文化祭テーマの「50ing (ゴーイング)」と青山の頭文字Aを組み合わせています。色は4色・サイズは5種類用意しました。

9月26日(金)に全校生徒と職員に配布しました。着用は10月1日からとなります。



いよいよ熱がこもる文化祭準備!

いよいよ目前に迫ってきた青嵐祭(文化祭)に向けて、一・二年生の各クラス、発表する各部の準備にも熱がこもってきました。

一年生は高校の文化祭ははじめてですから担任・副担任のアドバイスを受けながら試行錯誤を繰り返しているようです。色々なアイデアをまとめて行く過程で様々な経験をしながらクラスの団結も強まります。

二年生のステージ発表は、今年度、4クラスとも「劇」となりました。シナリオの作成から大道具・小道具、衣装も協力しながら準備しています。オーディションをクリアして、ビコンプラザのステージで発表する二年一組では、恥ずかしくないものと懸命の練習が続いています。



大分県立別府青山高等学校の携帯サイトはこちらです。

【携帯サイトアドレス】
<http://kou.oita-ed.jp/beppuaoyama/mobile/>

<http://kou.oita-ed.jp/beppuaoyama/>